

科目名 Course Name	幼児曲演習 Infant song exercises						
年次	2年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	岡泉志のぶ 中沢充恵 山田飛鳥 川田将人						
連絡先(質問等)	岡泉研究室(講義棟3階)、講師室(講義棟1階)にて、またはメールで対応する。						
必修/選択	選択 (保育士養成課程選択必修)						
関連 DP	DP2,DP3,DP4						
授業の概要と到達目標	<p>子どもが成長する過程で音楽の必要性と影響力はとて大きく、子どもが音楽に親しんでうたを歌ったり楽器を演奏する楽しさを感じるためには、保育者の音楽能力が高いことが望ましい。この授業では、保育現場で必要なピアノ技術と伴奏法の習得を図り、特に教育実習までは各自が実習先から提示された課題曲について指導を受け、それ以降の授業は幼児曲集を使用したレッスンとコードを使用した簡易伴奏を実践できるようにする。また、その過程をチェックシートに記入し活用する。</p> <p>この授業の到達目標は、以下の4つである。</p> <p>①音楽に対する関心を高め、音楽的な表現活動に取り組む姿勢を身につけることができるようにする。</p> <p>②幼児曲チェックシートを活用して、幼児曲の伴奏を10曲以上演奏することができるようにする。</p> <p>③伴奏をしながら歌うことに慣れ、保育現場に必要な声の大きさや歌い出しのカウントができるようにする。</p> <p>④簡単なコードを活用して、幼児曲を応用的に伴奏することができるようにする。</p>						
授業の方法	ピアノ技術の習熟度別のクラス編成をし、対話型を含んだ個人レッスンと弾き歌いのグループレッソンを併用して行う。グループでレッスン室に入り、他者の演奏を聞くことで技術の向上も目指す。個人レッスンの授業内容は各学生の能力に応じた教材や進度を的確に判断し指導を行う。以下には、標準的(ピアノ未経験者、初心者に適した)な授業計画を示す。						
学習成果	L01	実習先から提示された課題曲と各自が習得した幼児曲の伴奏や弾き歌いを保育現場で正しく演奏しながら表情豊かに歌うことができる。					
	L02	楽曲の構成、正確な音程やリズム、速度、強弱を用いたピアノ技術の習得とコードを理解し、簡易伴奏を作り、音楽的に表現することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	個々の学生のレベルに応じて課した技術的課題について、毎回授業内でフィードバックする。						
教科書/参考図書	テキスト:改訂 幼児のための音楽教育(教育芸術社)、その他(実習先からの課題曲や幼児曲)の楽譜						
履修上の留意点やルール等	●短い時間でも毎日ピアノに触れ練習すること。●使用教室(MR I、MR II、レッスン室)では、飲食持ち込み禁止とする。●事前、事後学習に費やす時間の目安は45分とする。						
担当教員の実務経験	●主担当:岡泉(職種:ピアノ講師 職歴:通算20年) 担当者(非常勤講師):ピアノ講師歴あり 学生個々の能力別による個人レッスンに、ピアノ指導の経験を活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	毎回、与えられた課題を練習して授業に臨んでいる。また授業内でのレッスンによる理解度についても評価する。	30			
レポート/作品					
発表	担当教員全員の前で1曲弾き歌いし、曲の難易度と表現力で採点する。各担当教員が全受講者の演奏を採点し、その平均点を評価とす		50		

	る。				
小テスト					
試験					
その他	曲の進度による評価をする。		20		
合計		30	70		

回数		授業計画
1	授業内容	全体オリエンテーション:授業概要、評価方法の説明、受講上の注意等を説明 担当者別:習熟度チェック、各自の教材の選定と課題
	事前・事後学習	提示された課題を完成させられるよう練習時間を定め課題に取り組み、できるだけ毎日練習をする。レッスン後はレッスンで習得したことを復習し、完成した曲も継続して練習しレパートリーを増やす。
2	授業内容	日常のうた弾き歌い①朝のうた おべんとう おかえりのうた
	事前・事後学習	日常のうたのねらいと活動の内容に留意して、弾き歌いを練習する。
3	授業内容	日常のうた弾き歌い②朝のうた おべんとう おかえりのうた
	事前・事後学習	日常のうたのねらいと活動の内容に留意して、弾き歌いを練習する。
4	授業内容	実習先の課題を用いて 日常のうた
	事前・事後学習	個々に与えられた課題曲を確認し、各曲のねらいと活動の内容に留意して、適切な弾き歌いを体得する。
5	授業内容	実習先の課題を用いて 季節のうたの弾き歌い
	事前・事後学習	各課題曲の歌詞の内容に沿った、表現豊かな弾き歌いを体得する。
6	授業内容	実習先の課題を用いて 行事のうたの弾き歌い
	事前・事後学習	各課題曲の歌詞の内容に沿った、表現豊かな弾き歌いを体得する。
7	授業内容	実習先の課題を用いて 園歌などの園の特色を持ったうたの弾き歌い
	事前・事後学習	各課題曲の歌詞の内容に沿った、表現豊かな弾き歌いを体得する。
8	授業内容	幼児曲弾き歌い①(夏のうた) おばけなんてないさ うみ シャボン玉
	事前・事後学習	テキスト 60 頁、62 頁、63 頁のねらいと活動の内容に留意して、季節感を味わえる速度や強弱等の弾き歌いを習得する。※テキスト 185 頁を参照すること
9	授業内容	幼児曲弾き歌い②(秋のうた) バスごっこ やきいもグーチャーパー
	事前・事後学習	テキスト 85 頁、86 頁のねらいと活動の内容に留意して、季節感を味わえる速度や強弱等の弾き歌いを習得する。※テキスト 185 頁を参照すること
10	授業内容	幼児曲弾き歌い③(秋のうた) とんぼのめがね ピクニック
	事前・事後学習	テキスト 75 頁、78 頁のねらいと活動の内容に留意して、季節感を味わえる速度や強弱等の弾き歌いを習得する。※テキスト 185 頁を参照すること
11	授業内容	幼児曲弾き歌い④(冬のうた) あわてんぼうのサンタクロース 雪 簡易伴奏の作成①
	事前・事後学習	テキスト 101 頁、104~105 頁のねらいと活動の内容に留意して、季節感を味わえる速度や強弱等の弾き歌いを習得する。※テキスト 185 頁を参照すること 簡易伴奏作成に必要なコードについて、テキスト 183~184 頁を参照、課題曲の選定。
12	授業内容	幼児曲弾き歌い⑤(行事のうた) ハッピーバースデー 思い出のアルバム 簡易伴奏の作成②
	事前・事後学習	テキスト 79 頁、124~125 頁のねらいと活動の内容に留意して、速度や強弱等を意識した弾き歌いを習得する。※テキスト 185 頁を参照すること 選定した課題曲の簡易伴奏を作成する。
13	授業内容	幼児曲弾き歌い⑥ さんぼ アンパンマンマーチ 作成した簡易伴奏の弾き歌い
	事前・事後学習	テキスト 172~173 頁、174~175 頁の合奏譜による弾き歌いを習得する。 簡易伴奏の完成と弾き歌いの実践。

14	授業内容	グループ発表と講評
	事前・事後学習	グループ発表の課題曲の準備と発表。発表後は講評を踏まえて復習する。
15	授業内容	幼児曲弾き歌い⑦(日常の歌・行事の歌・季節の歌復習)
	事前・事後学習	これまでに学習した幼児曲の復習と新しい弾き歌いのレパートリーを増やす。